



48歳

福本精肉店 代表
ふくもと しんや
福本 真也 さん

加古川市志方町横大路166

TEL: 079-452-0385

1977年生まれ この年の出来事

○東京外為市場、1ドル=240円で取引終了
○王貞治選手ホームラン世界記録756号を達成
○インド・ガンジー政権倒れる
○スーパーカーブーム、ジョギングブーム、草野球ブーム、カラオケブームなど

今から50年ほど前、父が精肉加工業として加古川で創業しました。現在は拠点を三木に移し、百貨店などへ卸す加工場とその隣に焼肉店「お多福」を構えています。

私自身は高校を卒業後、神戸で修行を積む予定でしたが阪神淡路大震災の影響で受け入れ先が無くなり、家業を手伝うことになりました。それから30年以上、事業に携わっています。その間には、狂牛病やO-157の問題など困難な時期も経験しました。それでも、お客様からの「美味しかった」、「ごちそうさまでした」という言葉に励まされ頑張り続けることができました。

ここ最近では、正直なところ「厳しい時代」だと感じる事が多いです。コロナ禍以降少しずつお客様が戻ってきてくださっていますが、物価高に加えて、為替の影響で外国産のお肉が値上がりする中、高級なブランド牛は海外への輸出が増加し国内の流通量が少なくなり高価になっています。それでも、ありがたいことに家族連れのお客様が増え、何代にもわたってご愛顧いただいている方もいらっしゃいますので、地域の皆さんに長く愛される店舗であり続けたいと強く思うようになりました。今後は、補助金などを積極的に活用し機材を導入するなどして、厳しい時代に対応していきたいと考えています。

個人的なことでは、商工会議所の青年部を卒業してからはお酒を飲む機会が減り以前よりアルコールに弱くなった気がします(笑)。その代わりに、ゴルフの打ちっぱなしで健康的に汗を流す時間が増えました。仕事を続ける上では身体が資本ですので、健康にはこれからも十分気をつけながら、精一杯頑張っていきたいと思っています。



年男・年女に聞く

～今年の抱負～

新年あけましておめでとうございます。

令和7年は巳年。今年「年男・年女」にあたる巳年生まれの会員の方々に、各年代を代表して今年の抱負等を語っていただきました。



60歳

cafe marche MAMAN代表
はやし ともこ
林 智子 さん

加古川市尾上町養田425-1

HP: <http://cafe-maman.sakura.ne.jp/>

1965年生まれ この年の出来事

○いざなぎ景気始まる ○日韓条約の成立
○ソ連、人類初の宇宙遊泳 ○アイビー・スタイルが高校生から大学生の間に流行
○ニッカウヰスキーが「ブラックニッカ」を発売し、大ヒット

お店を始めてから、もう9年近く経ちます。もともとは会社勤めで、その際に飲食部門の運営を任されていた。その経験やノウハウを生かして何かしたいと思い、開業を決意しました。実は開業準備中に体調を崩してしまい、しばらく入院生活を送ることになったのですが、仕入れ先を探したり、原価計算をしたりと計画を練る日々集中していると時間があっという間に過ぎていきました。退院したその日に今のお店の物件を契約したのは、今でもいい思い出です。

お店の名前の「MAMAN(ママン)」はフランス語で「お母さん」という意味です。家でご飯を食べているような温かい雰囲気を感じていただければと思い、この名前にしました。小さな店舗ですので私ひとりで切り盛りしています。ランチタイムは昼休みを利用して来られるお客様も多いので、なるべく早く料理をお出しできるような心がけています。また混雑時には、常連のお客様が食器を片付けてくださるなど、本当に助けられることが多く、感謝の気持ちでいっぱいです。

昨年を振り返ると、夫が事業主として鉄鋼・溶接関係の工場を新しく立ち上げましたので、カフェの営業が終わった後に夫の仕事を手伝うことも多く、慌ただしい日々を送っていました。一方で、コロナ禍に始めたゴルフは、週2回ゴルフ場に通うほど楽しんでいましたが、今は夫も仕事が忙しくなり、月に1回程度に落ち着きました。今年は、気の合う人たちとゴルフを楽しみながら、日常を忘れるひとときを持つと思っています。

年女という節目を迎えた今年ですが、仕事や家庭、趣味など、どの面でも充実した日々を過ごせていることに感謝しています。そのため、私の場合は新たなチャレンジをするというよりも、忙しい日々そのものが活力や元気の源になっており、これからも「楽しく・忙しく」をモットーに、毎日を過ごしていきたいと思っています。



36歳

(株)MOJYU 代表取締役
もりもと あきよし
森本 章義 さん

加古川市東神吉町西井ノ口375-1 パルスビル2F

TEL: 079-490-3791

1989年生まれ この年の出来事

○昭和天皇が崩御 『平成』の時代へ ○中国で天安門事件が発生 ○ベルリンの壁が崩壊 ○消費税法が施行、消費税スタート ○金宝飾品、皮革、ワインなどで空前のイタリアンブーム

私どものメイン事業は、宅配ボックスや郵便ポストの卸売です。ただし、デザインは100%自社で行っており、他社にはないオリジナリティや豊富なバリエーションを特徴とするエクステリア・インテリア商品を提供しています。

開業したのは2021年で、コロナ禍の真っ只中でした。ネット通販やデリバリーサービスの普及によって「非接触」が求められる時代となり、置き配や宅配ポストが注目され始めたタイミングでしたので、市場環境に支えられ順調に事業をスタートすることができました。

主なお客様はネット販売業者、雑貨店、家具店、ホームセンター等のため、エンドユーザーの声を直接聞く機会は少ないのですが、ネットショップでのレビューを通じて「外に置く商品なので、デザインが多くて自分の好みに合ったものを探るのが嬉しい」、「組み立てが簡単で良かった」といった感想をいただき励みになっています。

昨年の9月には初めて展示会にも出展しました。振り返ってみると、これが大きなターニングポイントだったと感じます。それまで、カタログやホームページを通じて取引を頂くケースが多かったのですが、展示会では実際に商品を目で見ていただき、色合いや質感などの特徴が高く評価され新規のお取引に繋がる結果となりました。

おかげさまで忙しい日々を送っていますが、その分、趣味で定期的に友人と楽しんでいたフットサルができなくなってしまったのは少し残念です。今年は新たなエクステリア商品の拡充を考えています。具体的には、小型の物置(倉庫)のデザインを考えていて、既存の大きな物置を補完する「2つ目」としての用途や、マンションやアパートのベランダにも置けるサイズ感の製品を企画しています。今年は仕事が落ち着いてきたら、仕事とプライベートの両立も目指していきたいと思っています。